

月28日に開通した新冠インターチェンジは、道央圏を中心に各圏域とのアクセス時間を短縮するほか、当町の観光魅力を広くアピールする大きな推進力になるものと考えています。

その上で、当町への流入人口にどのような変化が生まれるのか、しっかりと見極め、将来を見据えた施策の樹立と事業の推進に努めることとします。

また、実施に当たっては、ガバメントクラウドファンディングでの資金支援を募ることで、関係人口の増加につなげ、観光の振興に



新冠インターチェンジ開通直後の様子

つなげて行くこととしております。

⑦ 商工業

次に、商工業の振興についてですが、小売店を中心とした商工業者の経済活動は、人々の働く場の提供と日用品を中心とした生活必需品の購買機会を確保するという生活に欠かせない事業活動です。

そのためには携わる事業者の経営安定化を図ることが大切であり、商工会の役割が重要となります。

このため、町は商工会が行う経営改善普及事業などを支援することと商工業振興を図って参ります。また町内に新たな企業が立ち上がることは、町内経済の活性化に資すると考え、民間事業者による町内創業について支援して行くこととします。

この支援制度は、起業促進のみを目的とすることなく、併せて地場産品の開発についても支援するなど関係制度を充実させることで地域資源の活用促進をも図る考えです。

当町における起業環境が好転している現在、起業・商品開発を支援することで町の経済活性化を推進して行きます。

6 郷土を愛し生きる力を育む

人づくり

教育行政につきましても、教育

1年間当町の地域おこし協力隊として勤務することとなりました。都会に住む学生が新たな視点で

当町のまちづくりに貢献しようという意気込みをもって休学して挑もうとする、その気持ちに感謝すると同時に大きな期待を寄せるところです。

現在は、軽種馬産業に関係する起業可能性を検討するほか、レ・コード館が収蔵するレコードデータ入力スピード化とネット公開による町のPRを試みたいとの申し出を受けており、いずれも当町にとつて大きな貢献となる取り組みであり、町としても共に推進して行く考えであります。

7 自立したまちづくり

まちづくりの推進において、町民の皆さんにまちづくりの現状を説明し、そして意見をいただくことはより良い施策の実現につながり、また幅広い世代との対話、各種団体との懇話、さらには女性の視点からの意見を聴き取ることは、まちづくりを活性化させる貴重な機会と考え、就任以来、できる限り多くの懇談機会を作ることに取り組んできてまいりましたが、より一層力を尽くして行きたいと考えています。

人口減少・少子高齢化の進行が



東京大学による軽種馬産業フィールドワーク

に関する総合的な施策である「新冠町教育大綱」に掲げる基本理念「生きる力を育みふるさと愛を深める新冠の教育」を推進するため、総合教育会議を通じて教育委員会と政策の方向性を共有し、教育環境の充実を図って参ります。

まず、これまで幼・小・中の連携した教育環境を充実させるために教育委員会が所管していた認定こども園ド・レ・ミにつきましても、利用者の約9割が保育的利用であり、児童福祉としての支援サービスであること、また、新年度から「こども家庭センター」を設置することに伴い、町部局へ移管することといたします。

運営の所管は変わりますが、幼・小・中の連携につきましても、これまで培ってきたノウハウを活かし、幼少期から義務教育課程終了まで切れ目のない教育環境を教育委員会と連携を図り提供します。

次に、小中学校においては、学習指導要領に応じた授業づくりやICT環境を活用した授業づくりを進めるために、引き続き施設環境整備を支援し、適切な教育環境の維持に努めます。

また、児童生徒数の減少が続いておりますが、これまで同様に各学年ごとに学習支援員を配置し、教育環境の充実を支援して参ります。

今後も続く中、人口確保対策は全ての市町村が重視するまちづくりテーマの1つであろうかと考えます。

当町においても、これまで定住移住政策の推進のほか医療、福祉、教育、子育てなど幅広い分野において人口確保につながる施策を推進してきました。今後は、北星町開発用地の一部を活用する宅地分譲計画を関係機関と調整・協議し、新たな財源確保の可能性を求め、早期の分譲に努めて行くこととします。



新冠町青年団体連絡会議との町政懇談会

社会教育におきましては「新冠を愛し、新冠で学びあい持続可能なまちづくりを目指す社会教育の推進」を最重要目標として、新冠のあらゆる機会や場所で学習することができ、その成果を発揮するまちづくりを実現することを目標として、特徴ある事業を展開しながら、持続可能な社会を目指した質の高い教育を進めて参ります。

加えて、レ・コード館をはじめとした各種社会教育施設では、施設機能を十分に生かしながら生涯学習の場を提供するとともに、町民の自主的な文化芸術活動やスポーツ活動を支援し、引き続き安全で利用しやすい施設運営に努めて参ります。



新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート

おまげ

以上、令和8年度の町政執行にあつての所信の一端と、主要施策の概要について申し上げます。

本方針で述べました各施策は、いずれも当町の将来を左右する重要な取り組みばかりであり、当町が直面する人口減少や少子高齢化の進行、激甚化・頻発化する自然災害への対応などの諸課題は、いずれも中長期的視点に立った的確な対応を要するものであります。

限られた財源と時間を最大限に活かし、一つひとつの課題に正面から向き合い、持続可能な町政運営を確立することこそが、現下における町政の最大の使命であると認識しております。

私は町政を担う責任者として、町民の皆さまの負託に応えるべく、いかなる困難な状況にあつても、将来を見据えた決断と実行を重ね、新冠町の発展と町民福祉の向上に全力を尽くして参ります。

結びにあたりまして、議員各位をはじめ町民の皆さまにおかれましては、町政運営に対し、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和8年度の町政執行方針といたします。